



新年

あ い さ つ



葉山町長
森 英二

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

まず始めに、昨年十一月に葉山町クリーンセンターから排出基準を超えるダイオキシンの検出され、焼却炉を停止する事態となり、町民の皆様には多大な不安をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。町では原因調査をしております。また、今回問題となりました放流水は水道水源には流れておらず、国が定める耐用一日摂取量も下回っているため、人体への影響がないと考えられます。

さて、「光陰矢の如し」と申しま

すが、町長として就任して早三年が経とうとしています。この間自身としては身辺をきれいにモットーに、特定の団体や企業との癒着のないようクリーンな行政を心掛けてきたと自負しています。就任当初より意識してきた行動指針の一つに「裸の王様」と人物評で総括されないようにするということがございます。「裸の王様」はご承知のようにデンマークの童話作家アンデルセンの代表的な童話です。

企業や組織のトップとなると大きな権力を持つことになり、人の意見に特に、自分自身に耳の痛い言葉に耳を傾けることが難しくなっていく傾向にあります。これを防ぐために、私は広く町民の皆様の意見を聴く機会として「町長と語るふれあい座談会」を、これまでに二十数回催してきました。そして、その中で皆様から意見を頂いたり、また、私自身の思いを聴いて頂いたりしてきました。今後も継続していきます。

また、ごみの戸別収集については二つの自治会にモデル地区となつて頂き、五十八割と七十二割の減量が達成されました。この結果を踏まえ、来年度中には全町を対象に戸別収集方式と資源ごみの分別収集、また「ごみ半減袋」の配布もスタートさせる

べく準備を進めています。これはおそらく我が国ではじめての方式であり、ごみゼロを目指す政策の一層の推進に寄与するものと期待しています。

ところで、一昨年秋のリーマンショック以来の経済不況や雇用不安は、今なお尾を引いています。もちろん、このような社会経済の動向は町の財政状況にも影響しており、かつてない厳しい状況であります。このような時にいつも私が思い出し大切にしている言葉があります。それは、松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）の創始者松下幸之助氏の言葉「かつてない困難からは、かつてない革新が生まれ、かつてない革新からは、かつてない飛躍が生まれる。」です。

まさに、葉山町の現況に合う言葉であると思います。このような時にこそ正攻法で対策を講じ、結果の検証をする。この行動の繰り返し、いずれ困難な状況を克服し、革新を生み新たな葉山町の飛躍を生み出すことになると思っています。「ピンチをチャンスに！」を目指します。本年も身を引き締めて町政運営にあたります。一層のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご繁栄を心からご祈念申し上げます。

賀

年頭のご

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうござい
ます。皆様、おそろいで新しい年を
お迎えのことと存じます。

昨年は、議会に対し、皆様のご指
導・ご鞭撻を賜りたいへんにありが
とうございました。本年もどうぞよ
ろしくお願い申し上げます。

「春のはじめの御悦びは月のみつ
るがごとく、しをのさすがごとく、
草のかこむが如く」と申します。年
頭の喜びの一念が、その後のすべて
に生気と福運をもたらしていくとい
う元意とのことです。

過去が、しきり直したい思いであ

るなら、年の初めには、遅しい一歩
を共に踏み出しましょう。

天変地天の無い一年であることを
強く念願いたします。

昨年は二人の日本人がノーベル賞
を受賞なさる喜ばしいニュースがあ
りました。科学の進歩と同様に、私
たち人間の精神も磨かれているのか
と、思わず自らを振り返りました。

かつて、万延元年にニューヨーク
を訪れた日本の使節団は、詩人のホ
イットマンに、礼儀正しい使節たち、
動ずる気配もない、日本の貴公子と、
たたえられました。明治初年に、留
学した新渡戸稲造や内村鑑三、岡倉
天心たちも欧米で賞賛を受け、帰国
しました。

彼らの教養と品性の根幹は、日本
の古典と漢籍をきちんと読んでいた
こと、そして明治の武士道精神をし
っかりと身に付けていたことといわ
れております。

昭和十八年には、元駐日フランス
大使ポール・クロードルをして、「日
本人は貧しい。しかし高貴だ。世界
でただ一つ、どうしても生き残って

欲しい民族をあげるとしたら、それ
は日本人だ」とまで、言わしめまし
た。

私どもも、審議能力向上のための
研修や課題解決の力量研磨は当然の
こと、思索の深化と惻隱の情という
ようなものを、忘れることがあつて
はならないと、自戒しております。

国も、町行政も、一時として油断
のならない懸案事項が山積しており
ます。一層の緊張感を持ち、皆様の
負託にお応えしてまいります。

先頃、吉田満氏の名著「戦艦大和
ノ最期」を再読いたしました。あと
がきに、「弱冠二十二歳の私が、曲
りなりにもこの筆馴れない文体と修
辞をもつて全篇を貫きえたことを、
戦前の行きとどいた国語教育の賜物
として感謝したい。」とありました。

私どもの政治と教育が子ども達に
後世、評価と感謝を受けることがで
きるよう、本年も皆様と共に、希望
に満ちた葉山町構築に向け、議員一
同力を尽くしてまいります。

皆様のご多幸を心からお祈りいた
しております。



葉山町議会議長

鈴木道子